

地域の会 質問・意見書

日付：令和3年3月17日

氏名： 宮崎 孝司

東京電力に質問

3月の地域の会で報告された「柏崎刈羽原子力発電所（中略）における核物質防護に係る事案が報告されました。市民向けのためか、核物質防護に抵触しない範囲での報告だと断ってありました。安全協定を結ぶ県市村にはどのように通報したのか教えてください。

質問1、安全協定第4条に基づく「通報連絡」では軽微な事象も県市村に報告することになっています。核物質防護に抵触する内容は通報することになっているか、いないか原則を教えてください。

質問2—①、IDカード不正使用の事件は、昨年9月20日発生、9月21日には規制庁に報告しています。同日県市村に報告しなかったと思われるが、理由は何ですか。

質問2—②県市村に報告したのは、いつですか。安全協定では、「直ちに通報する」となっていますが、安全協定違反を認めますか。

質問2—③3月の地域の会で、2月15日付で核物質防護設備（複数）の損壊や故障があり、規制庁に報告したとありますが、安全協定上、県市村にも直ちに報告することだと思いますが、しましたか。報告の内容は、この文面と同じですか。

柏崎市に質問

新しい防災ガイドブック「原子力災害編」が届きました。前回編にはなかった「複合災害時の行動」が載っています。

質問1、防風雪との複合災害のところに、「避難中のリスクがあるため、自宅などで屋内退避を行い、原子力災害の避難指示が出た場合は、天候が回復してから避難先自治体に避難する。」となっています。

別なページには、PAZは、「放射性物質の放出前に避難する」と書いてありますが、東電の説明では、事故事象発生から38時間後にベント操作（放射性物質の放出）を行うとなっています。天候の回復はベント操作前であれば被ばくしてしまいます。天候が回復したとしても、道路の啓開や除雪が十分なされPAZ住民2万人が一斉に避難行動ができるとは思えません。

「天候が回復してから避難先自治体に避難する。」ということは、放射性物質が個々人はもちろん、道路も田畑にも降り注ぐ中を移動する計画だということですか

質問2—①市の避難計画には、各避難所に先遣隊を派遣するとなっています。避難所1か所について何人派遣する計画ですか。PAZの場合、避難所は何か所ですか。

質問2—②PAZでは警戒事態で避難準備、施設敷地緊急事態で避難開始の指示が出ます。市の先遣隊は住民が到着する前に避難所到着するものと思いますが、どの段階で出発するのですか。

質問2—③防風雪との複合災害の場合、職員が勤務中であれば、隊員は短時間でそろいますが、天候の回復を待って出動しますか。住民と同じスタートになる計画ですか。

質問2—④防風雪との複合災害が休日になった場合、職員は天候や積雪状況に関わりなく招集されるのでしょうか。その場合、隊員がそろわないことが十分考えられます。放射性物質放出に関係なく、そろうまで待つのですか。

以上